

ごいこふん 後井古墳



県指定史跡

指定年月日：昭和53年3月31日

所在地：宿井字後井425番地 他

後井古墳は、地方主要道『光上関線』にある跨線橋“さかえ橋”の東側、田布施町城南地域の秋葉山あきばやまに所在します。1号墳は6世紀末から7世紀初頭の円墳です。埋葬施設は片袖式の横穴式石室であり、山口県下最大規模です。当時の首長墓とされています。1号墳と接して2号墳があり、ほぼ同時期に造られた前方後円墳とみられています。1号墳の玄室内にある社は火の神様『秋葉様』で、現在も地元の方々によりお祭りがなされています。

1号墳のみ自由に見学可能です。また、田布施町郷土館にて、1号墳石室の1/2模型や解説を見ることができます。

※参考文献

山本一朗 2000 「後井古墳」『山口県史 資料編 考古1』山口県

伊藤徹男 2006 「岩国・柳井地区とその周辺 熊毛郡の辺り 国森古墳」『山口の歴史散歩』株式会社山川出版社

問合せ先

田布施町教育委員会 社会教育課 社会教育係

Tel:0820-25-3185/Fax:0820-52-4904

E-mail shakaikyoiku@town.tabuse.yamaguchi.jp